

令和元年度浜田市決算状況をお知らせします

令和元年度の一般会計決算状況は、歳入決算額が398億1,082万円（対前年度比3.4%減）、歳出決算額が392億1,887万円（対前年度比3.4%減）、翌年度へ繰り越す財源3,293万円を除いた実質収支で5億5,902万円の剰余金が生じました。少子高齢化の影響により、引き続き高い水準で社会保障関係経費（民生費）が推移しており厳しい財政運営となっています。今後も行財政改革実施計画を着実に推進し、持続可能な財政体質の確立に努める必要があります。

歳出総額 392億1,887万円

区分	具体的内容
総務費	庁舎の管理・徴税・地域振興などに使いました。
民生費	子育て支援・高齢者や障がいのある人への支援・生活保護などに使いました。
衛生費	ごみ処理や火葬場の維持・病気の予防・環境保全などに使いました。
農林水産業費	農業や林業・漁業の振興などに使いました。
商工費	商業や工業・観光の振興・企業誘致などに使いました。
土木費	道路や河川・公園・住宅の整備などに使いました。
消防費	消火活動・救急救命などに使いました。
教育費	小中学校・幼稚園・公民館の運営・文化財保護・生涯学習などに使いました。
公債費	借金の返済に使いました。
その他	議会の運営・災害復旧・勤労青少年ホームの運営などに使いました。

令和元年度に実施した事業



浜田開府400年記念イベント事業
(事業費2,453万円)



高度衛生管理型荷捌所整備事業
(事業費19億4,589万円)

歳入歳出差引額 5億9,195万円

【内訳】

- ・翌年度繰越金 3,293万円…令和2年度に延長して行う事業に充てられます。
- ・剰余金 5億5,902万円…「財政調整基金」に積み立てるほか翌年度の自主財源として活用します。

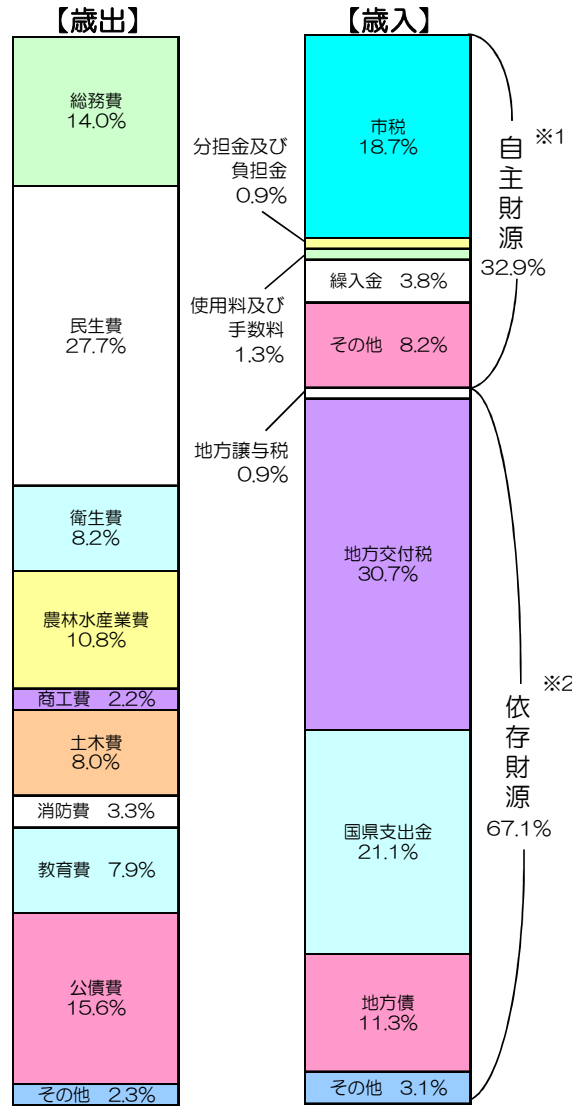
浜田市の会計には、一般会計のほか、特定の収入で支出を賄う特別会計が8あります。また、地方公営企業法の適用を受け、独立採算制を原則とした水道事業、工業用水道事業の公営企業会計があります。

■公営企業会計 (単位：千円)

会計名	歳入	歳出
水道事業	2,137,449	1,844,847
工業用水道事業	128,192	99,386

■特別会計 (単位：千円)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	6,609,813	6,571,488
駐車場事業	32,571	31,347
公設水産物仲買売場	18,040	15,080
公共下水道事業	655,622	652,910
農業集落排水事業	649,448	649,306
漁業集落排水事業	41,791	41,791
生活排水処理事業	53,152	53,109
後期高齢者医療	804,642	787,750



歳入総額 398億1,082万円

区分	具体的内容
市税	皆さんが納めた税金です。市民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税・入湯税があります。
分担金及び負担金	特定のサービスを受ける人に負担してもらったお金です。保育料・福祉施設入所負担金などがあります。
使用料及び手数料	市の施設の使用料や、住民票の発行手数料などです。
繰入金	基金（市の預金）を取り崩したり、特別会計（次ページ下段参照）から移し入れたお金です。
その他	預金利子や市の貸付けの返済金・事業受託収入・寄附金などがあります。
地方譲与税	国が徴収した揮発油税や自動車重量税などのうち、一定基準が市に配分されます。
地方交付税	市税収入の少ない市でも、市民に一定水準のサービスが行えるよう、国から交付されるお金です。所得税や法人税・消費税・酒税などを配分しています。
国県支出金	市が行う事業に対し、国や県が補助したり負担するお金です。
地方債	多額の経費がかかる事業（道路改修や災害復旧など）を行うために、国や銀行から借りたお金です。
その他	地方消費税交付金・交通安全対策特別交付金・地方特例交付金・自動車取得税交付金・配当割交付金などがあります。

※1 自主財源：浜田市が自らの権限で調達できる収入のことです。

※2 依存財源：国や県により交付されたり、割り当てられたりする収入や、政府・銀行などから借り入れた収入のことです。

浜田市の財政指数

指数名	内容	令和元年度 算定結果	財政健全化法	
			早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字率	1年間の標準的な収入と比較した、一般会計の赤字額の割合です。	—	12.49%	20.00%
連結実質赤字率	1年間の標準的な収入と比較した、特別会計や公営企業会計を含む全ての会計を合算した赤字額の割合です。	—	17.49%	30.00%
実質公債費比率 (3か年平均)	1年間の標準的な収入と比較した、一般会計が負担する借金などの返済額の割合です。	10.9%	25.0%	35.0%
将来負担率	1年間の標準的な収入と比較した、将来一般会計が返済する借金などの負担割合です。	54.6%	350.0%	—

浜田さん家の1か月分の家計簿を見てみましょう

※決算額（一般会計）を1万分の1に縮小し、さらに12分の1にして1か月分の家計簿風に見てみると…

支出	市の性質別区分	金額	収入	市の性質別区分	金額
食費	人件費	4万9千円	給料	市税	6万2千円
光熱水費・日用雑貨代	物件費	3万4千円	家賃収入	使用料及び手数料など	3万4千円
医療費・保育料など	扶助費	5万8千円	預金の取崩し	繰入金	1万3千円
ローンの返済金	公債費	5万1千円	親からの援助	地方交付税・地方譲与税など	11万5千円
子どもへの仕送り	繰入金	3万円	兄弟からの援助	国県支出金	7万円
家の増築費・新車購入	普通建設費・災害復旧費	5万5千円	借金	地方債	3万7千円
町内会費・ご祝儀など	補助費など	3万7千円	収入合計		33万1千円
定期預金	積立金	8千円			
家や車の修理代・友人へ貸したお金	維持補修費・貸付金・投資及び出資金	4千円			
支出合計		32万6千円			

収入合計から支出合計を差し引いた金額は、毎月約5千円、1年で約5万9千円となりました。そのうち、約3千円を翌年度に持っていき、残った約5万6千円を『財政調整基金』銀行などに預金しました。

